
金色の陽光

牢人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

金色の陽光

【Nコード】

N7212Y

【作者名】

牢人

【あらすじ】

人間以外と獣人が何とか歩み寄ろうとしている世界。今はまだお互いに距離がある中、彼らと共に生活する事を決めた一家の一員、高校一年生になったばかりの少年。彼は胸の中にある決意を秘め、何かと騒がしい学園生活を送る。様々な騒動や事件に巻き込まれ、あるいは自ら渦中に飛び込む。様々な経験を経て、少年と、仲間達は少しずつ成長していく。

プロローグ（前書き）

この小説は基本的に楽しい（？）学園生活を描いたものですが、たまに骨がポキポキ折れたり血が飛び散ったりします。そういったものが苦手な方はご注意下さい。

ブローグ

一台の車がある建物の前で止まった。車内の一番大きな人影が微かに動き、ドアが開く。

「ここが今日から世話んなる俺達の城だ」

いち早く車から降りた、まるで岩のような筋肉を全身に纏った30代半ばの男性が、次々に車から降りて来る者達にそう言った。金髪の少年が「ただの一軒家じゃねえか」と呟く。男性は、モノはただに一軒家でも気持ちはそれぐらいが丁度いい、と言うと鍵を取り出し、表玄関を開けた。

屋内には広々としたスペースが広がり、多数のテーブルとイスが綺麗に並べられている。カウンター席の奥には厨房があり、包丁、鍋、フライパンなど調理器具が所狭しと並べられている。

「いつまでもンな所で突っ立ってねえで、開店準備始めるぞ!」

外から屋内を眺めていた一同に向かい、笑顔で促す男性。彼に続くように外にいた者達が順に建物に入る。

この日、海に面した小さな町にある一家が引っ越してきた。まだ
少しだけ風に冷たさが残る、3月上旬の事だった。

物語は、これより3年後に始まる…

プロローグ（後書き）

はじめまして、色んな物に捕らわれて出る事が出来ない運命の囚人
こと牢人と申す者です。なにぶん不慣れなもので、至らぬ点が多々あるかと思いますがどうかよろしくお願いします。

種族、舞台、その他登場人物紹介1（前書き）

種族や登場人物をはじめとした設定です。

種族、舞台、その他登場人物紹介 1

種族 この世界には高い知能を備えた3種の種族が存在する。

人（ヒト） この世界に置いて最も広範囲に分布し、数も最も多い。基本的に身体能力は低く、他の種に比べ脆弱。だが道具を作り扱う事に長けており、その技術力を生かし発展して来た。かつては他の二種と対立していたが、最近は共存派が増えている。だが一部では過激な対立派が存在するなど意見は纏まっていない。

獣人 発生時期など詳しい事は不明だが、ある時期に突如現れその数を増やして来た種族。人間と同程度の知能と獣の身体能力を併せ持つ。その容姿には幅があり、人間とほとんど変わらない者もいればほとんど動物と姿の変わらない者もいる。だが大抵の場合人と獣の中間の姿をしており、人ほど器用ではない。最近まで人と小競り合いが続いていたが、今は「共存すべき」という意見がお互いに広まり、徐々に壁がなくなりつつある。

妖怪 人間よりも古い時代からこの地上に住む種族。自然が具現化した存在とも言われ、知能や能力は他の2種族を上回る。かつて人と激しく対立し、その圧倒的な力で一時は優位に立っていたものの、凄まじい速度で発達した人の技術力の前に敗北。それ以来人を避けるようにひっそりと生きている。中には人と共生する者もごく少数ながら存在する。多くの者が人を嫌悪しており、妖怪による人と獣人に対する襲撃が後を絶たない。

世界観 現代の地球に近い技術と文明を持つ世界。ただし地形や法などはかなり違いがある。また武術や武道が発達し、多くの者

が修行に励んでいる。

武器 妖怪の襲撃が後を絶たないため、武器の所持、使用が許可されている。が、その分治安はやや悪い。

舞台 日本によく似た日之元ひのもとという国にある海に面した海龍町うみりゅうまちが主な舞台。

登場人物紹介1

日島家

かつては国内最大の忍しのの一族だった。現在も忍としての活動は行われているが、その多くは要人警護などに留まる。この物語の中心となるのは、日島家の本家ではなく本家から遠い地で生活する日島高司を大黒柱とする家である。家族の仲は良好。

日島 陽ひしま よう 年齢16歳 身長162? 体重60?

主人公。海龍第2高等学校一年生。日島 高司の長男。日島家誕生と共に生まれた、柔術の流れを汲む「新月流」の使い手で、杖術と剣術、体術を得意としている。母親が西洋人とのハーフのため金髪碧眼。一見クールだが、実はかなり気が短く喧嘩っ早い。武術の腕は非常に優れており、日々鍛錬を怠らない肉体は小柄ながら高い能力を持つ。特に視力や聴力などの五感が非常に発達している。物怖じしない性格で、自身の身体的特徴もあり獣人や妖怪に対して偏見の目を持っていない。趣味は釣り。

日島 高司ひしま こうし 年齢39歳 身長174? 体重131?

第16代新月流宗家で陽の父。普段は自宅兼料理店で料理人をしている。本家から出る際、ある密命を受けていたが本人は忘れてい

る。鍛え抜かれた肉体はもはや人間のそれではなく、その身体能力は妖怪すら凌駕すると言われている。陽に対しては料理の師としてまた武術の師として厳しく接しているが、内心溺愛している親バカでもある。豪快だが思慮深く、度量の広い人物。その外見から酒豪と思われがちだが下戸である。体術と槍術を得意としている。越え難き壁として常に陽の前に立ちほだかる親父。腰痛持ち。

日島 静 ひしま しずか 年齢享年25歳 身長155? 体重 ?

陽の実母。陽が5歳の時に起きた事件が元で他界。西洋人とのハーフで、陽と同じ金髪碧眼。名前とは真逆で非常に騒がしい人。

日島 早苗 ひしま さなえ 年齢34歳 身長157? 体重48?

4年前、高司と再婚した女性。前夫と共に高司とは幼馴染。日島家が管理する土地の中にある田舎町の出身で、直接日島家と関わりがある訳ではないが、日島家の事自体は昔から知っていた。肝の据わった性格。

日島 優花 ひしま ゆうか 年齢17歳 身長160? 体重???

高司の姉夫婦の一人娘だったが、事故で両親が他界し、高司に引き取られた。弟達に対しやや過剰ともいえる愛情を持つブラコン。海龍第2高校2年生。グラマーである。

日島 勝 ひしま かつ 年齢13歳 身長158? 体重45?

早苗と、彼女の前夫との間に生まれた息子で、早苗と共に日島家の一員となった。武術の才能どころか運動の才能自体全くないが、頭が良く将来は学者になりたいと考えている。陽以上に物怖じしない性格で、ある意味最強の男である。

日島 楓 ひじま かえで 年齢2歳

高司と早苗の間に生まれた娘。家族の愛情を一身に受け、すくすくと成長中。素質については全くの未知数。

店員A てんいんえー 年齢22歳

日島家の自宅兼料理店「日島料理店」の従業員。日島家率いる「日島忍軍」の一員の連絡係だが影が薄い。

店員B てんいんびー 年齢26歳

日島料理店の従業員で日島忍軍工作員だが顔が濃い。

朧家

第7代「神武長刀一刀流」宗家、朧 醍蔵を主とした剣術一家。

朧 加奈 おぼろ かな 年齢18歳 身長165? 体重55?

ヒロイン。虎と狼の獣人のハーフで、獣人としては平均的な容姿陽の恋人。海龍第2高等学校3年生。頭のネジが吹っ飛んだ性格で、思考が行動に支配されている。直情的かつ楽天的で、本能の赴くままに行動する事が多い。良く言えば純粹無垢、悪く言えば動物並。一見奔放で身勝手に見えるが、強い意思の持ち主であり、仲間や家族の事を大切にしている。神武長刀一刀流中段で、かなりの腕前。虎と狼のハーフだが、見た目はほぼ狼。

朧 竜太 おぼろ りゅうた 年齢18歳 身長185? 体重93?

加奈の双子の弟で陽の親友。幼少の頃より頭のネジが吹っ飛んだ姉の抑え役をしてきたためか、年齢の割に落ち着いた性格。神武長刀一刀流高段で、時期伝承者最有力候補。性格良好恵まれた体格に優れた身体能力、非凡な才能を持ち、学業も校内トップクラスという文武両道の優等生で、あまりの優等生ぶりに「出来杉君」と仇名されるほど。自分より劣る身体的スペックながら、自分と互角の戦いを展開するセンスを持つ陽を尊敬すると同時に、軽い嫉妬心も抱いている。虎と狼のハーフだが、ほぼ虎で、姉と同じく平均的な容姿。

臃おぼろ 醍蔵だいぞう 年齢53歳 身長180? 体重82?

虎の獣人。臃家の主にして第7代神武長刀一刀流宗家。温厚で物静かな紳士で、風流を好む古風な男性。神の領域に達していると称されるほどの剣の腕を持ち、古今東西彼の名を知らぬ者はいない。17歳も年下の娘と結婚をκάました犯罪者である。竜太よりやや獣に近い容姿。

臃おぼろ 美姫みぎ 年齢36歳 身長153? 体重42?

加奈と竜太の母親。幼い頃妖怪に襲われ、視力を失った。以来辛い生活を送っていたが、醍蔵と出会い、彼の温かさや誠実さに惹かれて行った。結婚の申し出をしたのは彼女の方から。慈愛に溢れる美女。容姿はかなり人に近い狼の獣人。

流派

新月流しんげつりゅう 約1000年前、日島家の祖先日島ひのしま 峽乃介きょうのすけが生み出した流派。以来日島忍軍ゆかりの者に伝えられ、代を重ねることに

時代に合わせ進化を続けて来た。特徴としては剛柔両方を備えたオールマイティな流派で、様々な武器術が伝わっている。高司の代になり、武術の秘密性の意味が薄れて来たのを機に、日島家ゆかりの者以外にも教え伝える事を考え一般の修行者に教える「表伝」と、才覚ある限られた者のみに伝えられる「裏伝」とを分けた。表伝は新月流の格闘術としての側面を教え、裏伝は殺人術としての側面を教える。裏伝が特定の者にしか伝えられない主な理由としては、裏伝の修業は非常に過酷であり、心身共に強靱な者でなければ最悪廃人になる可能性があるためと、邪な心を持つ者が悪用しないようにするためだ。段位は基本的に存在せず、宗家から免許皆伝が与えられるのみ。

神武長刀一刀流 しんぶちやうとういちやうりゅう

400年ほどの昔、長峰 ながみね 孝昌 たかまさ という一人の

剣豪が開いた流派。「長刀を狭い屋内で使うためにはどうすればいいか」という疑問から生まれた。身体と長刀を巧みに操り、狭い場所での斬撃や突き主体の戦闘法が確立された。現在は「狭い場所での斬撃」を元にした機動力のある鋭い太刀に変わり、長刀のリーチ、破壊力と合わせさり驚異的な戦闘力を有する。当初は直線的な動きと剣の捌きによつて相手を制する戦い方が主流だったが、現在は巧みな歩法を取り入れた戦い方に変わっている。段位は初段、中段、高段、免許、免許皆伝の順で高くなる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7212y/>

金色の陽光

2011年11月21日16時31分発行